

学校だより 「花里の子」

令和8年度 第6号（令和8年6月18日）

伊丹市立花里小学校長 小木曾 笑子



言葉は行動を変える ～ 自分の未来を変える一歩を ～

6月も後半になりました。1学期も残すところ、あと1か月余りです。梅雨のジメジメした気候も相まって、子どもたちの「やる気」は少し下り坂なのではないでしょうか。何かにつけて「めんどくさい」という言葉が聞こえてきます。そこで、全校集会では『めんどくさ』（作・絵：よしむらあきこ、教育画劇）を紹介し、「言葉は行動を変える」という話をしました。

学校生活の中で、私たちは日々多くの言葉を使い、また受け取っています。その言葉は、思っている以上に私たちの行動に大きな影響を与えています。例えば、失敗した友だちに「なんでできないの」と声をかけると、自信を失い、次の一歩をためらってしまうかもしれません。しかし、「もう少ししてできそうだね」「次はきつとうまくいくよ」と言葉を変えるだけで、前向きに挑戦しようとする気持ちが生まれます。

子どもたちがよく使う「めんどくさい」という言葉も、自分自身の行動に大きな影響を与えています。「めんどくさい」と思うと行動が止まり、やらなくてもよい理由を探してしまいます。その言葉を繰り返すうちに、次第に挑戦しない自分になってしまいます。「めんどくさい」と思ったとき、「ちょっとやってみよう」「少しずつ進もう」と言い換えることは、未来の自分を変える一歩につながります。



学校では、互いに励まし合い、前向きな言葉をかけ合うことを大切にしていきたいと考えています。言葉が変われば行動が変わり、行動が変われば学校全体の雰囲気もよりよいものになります。大人も子どもたちも、一人ひとりが自分の使っている言葉を見つめ直すことで、学校教育目標「笑顔いっぱい、やさしさいっぱい、チャレンジいっぱいの学校」に近づくことができると考えます。

ご家庭でも、お子様がプラスの言葉やふわふわ言葉をたくさん使えるよう、声かけのご協力をお願いいたします。

修学旅行に行ってきます!!



地域の方から千羽鶴を受け取り、お話を聞きました。



全校生で折った鶴で作ったパネルを披露しました。

修学旅行に向けて、6年生が平和学習を行っています。その一環として、地域の方からお話を伺ったり、全校生で千羽鶴を作ったりしました。6月の全校集会では、みんなで折った鶴で作ったパネルを紹介しました。

来週は、広島平和記念公園での学習が待っています。ヒロシマの思いを心で感じ、学びを深めてくれることと思います。

目的に合わせた4つの学びの場 カラフルな教育

本校には、「Classroom（通常学級）」「かがやき教室（特別支援学級）」「まなびルーム（通級指導教室）」「スマイルルーム（校内サポートルーム）」の4つの学びの場があります。それぞれ違った目的をもって教室の運営をしています。保護者の皆様とお子様のもつ課題を共有し、子どもたちに必要な学びを柔軟に支援していきたいと考えています。詳しい利用については、学校にご相談ください。

Classroom

- ・各学年の教室です。全児童がどこかのクラスに所属しています。
- ・今年度は、14学級あります。
- ・学習指導要領に示された通常の教育課程に沿って授業を行います。
- ・基本的には、担任または専科担当教員1人による集団学習です。
- ・必要に応じて、特別支援教育支援員等が支援に入ることがあります。
- ・集団生活を通して社会性やコミュニケーション能力を育みます。
- ・多様な個性に触れ、互いを認め合う姿勢を育みます。

かがやき教室

- ・個別のニーズや課題に応じた特別の教育課程に沿って学習を行います。
- ・国語や算数の時間を中心にClassroomから移動し、少人数で個別の課題にそった学習を進めます。
- ・複数の学年の子どもたちが一緒に学習することもあります。
- ・一人ひとりの理解のペースに合わせて学習を進めています。
- ・勉強するためのもとなる力を育む学習活動（自立活動）も行っています。
- ・学校での協議、教育委員会との相談が必要です。

まなびルーム

- ・個別のニーズや課題に合わせた学習を行います。
- ・週に1時間程度、Classroomから移動し、学校生活支援教員（通級担当教員）と学習します。
- ・勉強するためのもとなる力を高める学習（自立活動）を中心に行っています。
- ・必要に応じて教科の学習を行う事もあります。
- ・学校での協議、教育委員会との相談が必要です。

スマイルルーム

- ・Classroomで過ごす力を育むための教室です。
- ・さまざま理由で、Classroomで授業を受けるのが辛いときに一時的に利用します。
- ・原則として、業間、給食から掃除終了の間は、閉まっています。
- ・担任、スマイルルーム担当教員に相談してから利用します。
- ・利用が定期的になる場合は、保護者と学校が面談を行い、スマイルルームでの過ごし方や目標について話し合います。
- ・Classroomで出た課題に取り組みます。

ユニバーサルデザインの学習環境づくり

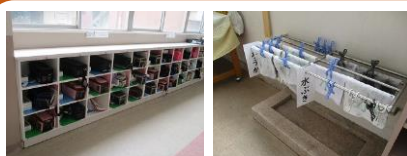
本校では、2年前から「ユニバーサルデザインの学校づくり」に取り組んでいます。その一環として、講師の先生に来ていただき、ご指導いただいた内容に基づき教室環境づくりを行っています。その一部を紹介します。



学習に集中できるよう、黒板周りの掲示物は最小限にしています。また、棚の中に気を取られないようにカーテンをつけています。



全教室共通の掲示物は、時計の周囲に集めました。



どこに、何を置くのかを決め、誰が見ても分かるように視覚支援を行っています。



1日の学習に見通しが持てるよう、その日の学習予定を掲示しています。学習の妨げにならないよう、授業中は移動可能になっています。